

「令和5年度鶴見区運営方針(素案)及び(案)」にかかる意見とその対応等について

【地域保健福祉部会】(運営方針(経営課題1等))

NO	委員名	(回次) 頁	意見	対応や考え方等	担当
1	寺井委員	(第2回) 6	【百歳体操について】 以前は実施場所である集会所等に体力測定等をしてくれる方に来ていただいていたが、最近では来ていただけないと聞いた。支援内容に変更があったのか。	- 支援内容に特段の変更はございません。 - いきいき百歳体操については、新規立上げグループの場合、まずリハビリテーション職の専門家を3回派遣させていただき、体操指導や簡単な体力測定等を実施させていただいています。 - 継続実施グループの場合は、年に1回は専門職を派遣したうえで、体操指導や体力測定のような簡単な計測をさせていただいています。近年はコロナウイルス感染症拡大の影響により、取組みを中止されているグループもあることから、同グループへの派遣は中止しています。 - まずは各地域における再開等の状況を確認したうえで、百歳体操の取組みを継続しているグループには、これまでどおり、年に1回は専門職を派遣し、支援を実施していきます。	健康づくり

「令和5年度鶴見区運営方針(素案)及び(案)」にかかる意見とその対応等について

【こども教育部会】(運営方針(経営課題3等))

NO	委員名	(回数) 頁	意見	対応や考え方等	担当
1	梶委員	(第2回) 18	【虐待事案に係る予防策について】 成果指標(単年度)では「重大な児童虐待件数」として、目標値がゼロ件と設定されているが、重大な虐待に至る手前にて予防策を講じることが必要である。	- ご指摘のとおり、重大な児童虐待の発生を未然に防ぐためには、子育てに不安を感じたり軽微な虐待が発生した時点にて速やかに把握し、適切な支援につなげることが重要と考えています。 - そのため、児童虐待防止に係る啓発物品やチラシを配布するとともに、アウトリーチ型の取組みなどを行うことにより、引き続き児童虐待防止に努めていきます。	子育て
2	鎮西(均)委員	(第2回) 17	【子育てサロンへの支援について】 子育て層が交流できる場としての「子育てサロン」の役割が大きいものの、コロナウイルス感染症のため、現状では12地域のうち1地域のみ開設となっている。開設に向けた支援策をなにか検討されているのか。	2か月に1回、鶴見区主任児童委員連絡会の場を活用して、子育てサロン毎の最新の定員数を情報提供しています。 - また、子ども・子育てプラザの職員が各地域に出向いたうえで、子育てサロン再開に向けた助言など行っていますので、当該取組み内容についても同様に情報提供し、子育てサロン再開に向けた支援を行っています。	子育て
3	梶委員	(第2回) 21	【思春期特有の課題への対応について】 思春期特有の課題もあることから、当該層の子どもやその保護者へのアプローチも重要ではないか。	区PTAと共催で企画する「鶴見人権啓発セミナー」や生涯学習事業として実施している「家庭教育支援講座」のテーマを検討する際の素材の一つとして取り上げていきます。	教育
4	江口委員	(第2回) 24	【実績値を高める方策について】 成果指標(単年度)に係る令和3年度実績値が97%と高くなっている。アンケートの回答者は本市職員の校長・教頭であることから、実績値を100%にすることも十分可能と思われる。そのため、実績値を100%にするにはどのようなことをする必要があるのかを検討すべきである。	校長会や教頭会、教育行政連絡会議等の場を通じて引き続き意見交換等ニーズの把握に努めるとともに、夢・未来創造事業等、学校を支援するための事業についてニーズを踏まえてより学校に活用していただくように推進していきます。	教育

「令和5年度鶴見区運営方針(素案)及び(案)」にかかる意見とその対応等について

【こども教育部会】(運営方針(経営課題3等))

NO	委員名	(回次) 頁	意見	対応や考え方等	担当
5	吉永委員	(第2回) 21	【生涯学習ルームの使用について】 生涯学習ルーム事業は、小学校内にて実施しているものの、現在、学校の意向により実施できていないところもある。そういった学校に対して、区役所から使用できるよう依頼をしてもらえないか。	- 生涯学習ルームは学校の施設内にて実施していることから、施設使用に関しては、校長の許可が必要です。 - 生涯学習ルームの再開や実施にあたり、学校側の意向により困っているようなことがあれば、学校側にヒアリングなどを行ったうえで、可能な範囲で協力する旨、令和5年1月・2月に開催した生涯学習推進員連絡会にて生涯学習推進員の皆様に伝えました。今後も類似相談があった場合には、適切に対応してまいります。	教育
6	安井委員	(第2回) 26	【効果的な情報発信媒体について】 SNSによる区政情報の発信について、フェイスブックは使用頻度が高くなく、インスタグラムのほうが効果的であると思われることから、活用を検討していただきたい。	- 当区におけるフェイスブックページへのアクセス数は月平均760件程度(令和4年3月～令和5年2月)となっています。 - また総務省の報告書(令和3年度)によると、主なSNS系サービスの利用状況ではフェイスブックは32.6%、インスタグラムは48.5%の方が利用しており、特にインスタグラムについては、同省が調査を開始(平成27年度)して以降、一貫して増加傾向にあるとのことです。 - 効果的な情報発信については、媒体の特性や長所・短所を不断に研究・検討し、適切と判断されるものの活用を進めてまいります。	政策推進
7	安井委員	(第2回) 29	【小学生を対象とした事業について】 「小学生向けSDGsの周知」ではポスターコンクールを実施されるとのことだが、小学生は競争して何かをすることが好きなことから、例えば学校毎に競わせるといったことを組み込まれてはどうか。	小学生が作成したポスターを学校の先生に審査していただき、学校長賞を設けるなど、子どもたちが楽しんでSDGsを学べるよう工夫していきたいと考えています。	政策推進

「令和5年度鶴見区運営方針(素案)及び(案)」にかかる意見とその対応等について

【こども教育部会】(運営方針(経営課題3等))

NO	委員名	(回次) 頁	意見	対応や考え方等	担当
8	吉永委員	(第2回) 29	【鶴見緑地内施設の開門時間について】 「花と緑豊かな環境の推進」に関連した内容として、鶴見緑地内の「山のエリア」にはゲートが設置されており、開門時間が7時10分になっている。他方、鶴見緑地内でのラジオ体操は6時40分ごろに終わり、当該ラジオ体操の参加者が「山のエリア」へ入るためには30分ほど待つ必要があることから、開門時間を早めてくれるよう申し入れしてもらえないか。	- いただいたご意見について、鶴見緑地を管理している鶴見緑地パークセンターへ確認したところ、「山のエリア」の本来の開門時間は9時であるものの、運用にて開門時間を早めているものであり、際限なく開門時間を早めることは困難とのことでした。 - また本意見については、所管局である建設局とも共有しています。	政策推進
9	梶委員	(第2回) 29	【子どもたちが体験できるSDGsの取組みへの支援事業について】 「花と緑豊かな環境の推進」について、花の種を配るのはいいと思う。鶴見緑地で実施している米作りの体験など子どもたちが参加申込するには難易度が高い取組みもあることから、より身近なところで、ごみ拾いなどの環境に触れる体験といった取組みも興味深いと思われる。	- 鶴見緑地で実施している野菜や米作りなどは緑地内の「自然体験観察園」で環境局のなにわECOスクエアが実施しています。 - 現在、区役所では子どもたちを対象にした取組みを行っていませんが、ご提案を踏まえ、SDGsの浸透を進めながら、学校や環境局などの関係機関と連携し、どのようなことができるのか考えていきます。	政策推進

「令和5年度鶴見区運営方針(素案)及び(案)」にかかる意見とその対応等について

【防災・防犯部会】(運営方針(経営課題2等))

NO	委員名	(回次) 頁	意見	対応や考え方等	担当
1	黒澤委員	(第2回) 11	【成果指標の設定について】 成果指標(単年度)では「地域が行う訓練の参加者で『役立った』と回答した区民の割合」と設定しているが、毎回同じ訓練をしていることから、「役に立った」ではなく、より難易度の高い指標を設定すべきではないか。	- 地域での避難訓練については、災害発生時に素早く避難所を開設できるよう基礎的な訓練を繰り返し行っています。 - それは、区民の皆様がスムーズに初動対応できるようになるまで反復訓練を行うことに意義があると考えているためです。 - そのため、成果指標については現行どおりとさせていただきますが、防災に関する新しい知識や技術の習得については、区政会議や広報紙などを活用して周知していきます。	市民協働
2	小倉委員	(第2回) 11	【防災に係る広報について】 区広報紙は多くの方が目にする媒体であることから、防災リーダーに関する特集号を組んでいただくと防災に対する関心が高まるのではないか。	- 地域防災リーダーの高齢化が進行しており、新たな担い手の確保のためには効果的な広報活動が重要であると考えています。 - ご提案を踏まえ、区広報紙に掲載している「つるりっぷの防災講座」のなかで、防災リーダーに関する内容を掲載したうえで、防災に対する関心が高まる記事になるよう工夫していきます。	市民協働

「令和5年度鶴見区運営方針(素案)及び(案)」にかかる意見とその対応等について

【防災・防犯部会】(運営方針(経営課題2等))

NO	委員名	(回次) 頁	意見	対応や考え方等	担当
3	鎮西(章)委員	(第2回) 14	【防犯カメラの取扱いについて】 ・「防犯カメラの取替」について、取り替えた防犯カメラの管理は区役所にて行っているが、警察とは連携されているのか。 ・また、地域にて管理している防犯カメラもあるが、同じように警察から防犯カメラの映像の提供を求められた場合、どのように判断すればよいのか。	・ 鶴見警察等からの捜査事項照会として、特定の防犯カメラの映像の提供を求められるときがあり、防犯面にて連携を図っています。 ・ 現在、当区設置分を含め、地域にて設置された防犯カメラに関する画像の閲覧については、区役所が一括して管理しています。 ・ そのため、捜査機関が地域へ直接防犯カメラの画像の閲覧申請を行った場合は、「画像の閲覧に関しては区が管理しているため、区役所へ相談いただきたい」旨、説明いただきますようお願いします。	市民協働
4	西山委員	(第2回) 15	【自転車マナーについて】 「自転車マナーアップキャンペーン」では、さまざまな取り組みを行っているかと思われるが、子どもや一部の大人を含め、多くの方は自転車運転に係る基本的なルールを理解していないと思われることから、基礎的な内容に関する講習を行ってみてはどうか。	・ 区政会議でのご意見や地域からご提案いただく自転車マナー向上に関する課題については、地域で生活されている方が実際に問題と認識されていることから、当該意見等に即した取り組みは実効性のあるものと考えています。 ・ 自転車運転における基礎的な内容に係る講習のご提案をいただきましたので、令和5年度の交通安全講習においては、自転車運転の5つの基本的なルールを示した「自転車安全利用五則」の内容を反映した講習を行うこととします。	市民協働

「令和5年度鶴見区運営方針(素案)及び(案)」にかかる意見とその対応等について

【防災・防犯部会】(運営方針(経営課題2等))

NO	委員名	(回次) 頁	意見	対応や考え方等	担当
5	島崎委員	(第2回) —	【区民アンケートについて】 多くの成果指標では「区民アンケート」結果を用いているようだが、回答率が50%程度であるならば、アンケート対象者数を現在の2,000人から増やすことを検討されないのか。	- 区民アンケートについては、区民の中から無作為に抽出した方を対象とした標本調査であることから、調査結果には誤差が含まれています。そのため、調査の実施にあたっては、信頼性の高い調査結果となるよう様々な工夫が必要と考えています。 - アンケート調査の質を確保するためには、一般的に回答者数の多さよりも回答率の高さのほうが重要視されていることから、対象数の増加ではなく回収率の向上に向けた対策を講じていきたいと考えています。	政策推進
6	黒澤委員	(第2回) —	【区民アンケート結果による分析について】 アンケート結果について、年齢又は年代別に分析することによって、課題が浮き彫りになることもあることから、別途提供いただきたい。	- ご要望のありました資料については、令和5年2月に開催した区政会議(第3回防災・防犯部会)終了後の「勉強会・意見交換会」時に配付させていただきましたので、ご確認いただければと思います。 - ご指摘のとおり、全体をベースとした単純集計結果だけでなく、年代を含め性別や居住地などの属性別に集計・分析することによって、その差異が明らかとなり、新たな課題を把握することができることから、引き続き区民アンケート結果の分析に努めていきます。	市民協働